

# 雅楽だより

## 《目次》

●文化勲章受章の芝祐靖先生を訪ねて	1	●焼却炉建設問題から手に入れたもの	上田博夫 11
●日本の音楽はこのままでいいですか？ 小島美子 1		●上牧・鶴殿ヨシ原の今	11
●ケルン大学雅楽アンサンブル		●現代語訳『楽家録』(14)	遠藤徹 14
有志による日本演奏旅行 バーバラ・ザック 7		●情報欄	14
●雅楽一中学校教育での私の指導一 石黒賢 9		●新刊『伶倫樂遊 芝祐靖と雅楽の現代』	16

第52号  
発行

2018(平成30)年1月  
雅楽協議会



文化勲章を受章した芝祐靖氏

芝祐靖先生は、昨年（2017年）11月3日、文化勲章を受章されました。雅楽での文化勲章の受章は初めてのことです。

受章の理由は「雅楽の演奏家として優れた演奏活動を開拓するにとどまらず、新たな創作や廃絶曲の復曲にも意欲的に取り組んで多くの成果を挙げ、現代に生きる芸術としての雅楽の可能性を世に示すとともに、後進の育成にも尽力してきたものであり、我が国文化の発展向上に貢献した功績は極めて顕著である。」と文化庁の推薦文に記されています。

お忙しい中、芝祐靖先生のお宅にお邪魔してお話を伺いました。

○文化勲章の受章、おめでとうございます。

（芝）「思つてもいませんでしたのでとても驚いています。文化庁から連絡がありました時に「11月3日は、九州に子どものためのコン

## 文化勲章受章の 芝祐靖先生を訪ねて

サポートで行つておりますので出席できないのです」と申し上げましたら、「それは存じておられます。そこを何とか出席いただきたい」ということでしたので章を頂きました。」

○雅楽では初めての文化勲章かと思われます。（芝）「そうですね、歌舞伎や能では受章者もおられますが、雅楽では初めてですね。私が記者会見で、天皇陛下が皇太子時代に御成婚

序曲」の作曲の事が載っていました。雅楽曲の作曲や復曲はたくさんありますが、オーケストラ曲の作曲もされているのです。（芝）「この「御成婚祝典序曲」を作曲した経過を簡単に話しますと、昭和33年に楽部でも御成婚をお祝いしましようということで、管絃と舞楽と洋楽を作ることになりました。管絃と舞楽は作曲者が決まりましたが、洋楽・（以下2ページ上段へ続く）

## 日本の音楽はこのままでいいですか？

国立歴史民俗博物館名誉教授

小島美子

若い頃から私は日本の音楽はこのままでいいのかと疑問に思い、書いたり話したりしてきました。しかしこの頃特に強く思うようになりました。

それは世界の音楽の中で日本の音楽はどういう音楽か？と考えるようになったからです。ごく冷静に日本全体を見廻してみて、日本の音楽の主流はクラシック、つまりヨーロッパ近代に発達した芸術音楽の亜流ではないでしょうか。たとえば韓国でもインドでも、

もちろんクラシックの影響は受けていますが伝統的な韓国音楽やインド音楽はしつかりと自己主張しています。これに対して伝統的な日本の音楽の声は非常に小さいのです。

日本では縄文以来（それ以前の史料は今のところないので）、音楽は随分豊かに発展してきましたが、基本的な部分はずつと引き継ぎました。飛鳥・奈良時代に中国や朝鮮、またその周辺の諸民族から音楽芸能が伝えら

（以下6ページ4段）

(1ページ4段途中より)

オーケストラ曲は作曲者が決まらずに安倍季巣先生から「(作曲を)受けるように」ということで、当時23歳の若輩者のお鉢が回ってきて作曲することになりました。9月に話がありまして4か月余りで作曲しました。みんなに譜面を渡しますと東儀兼彦さんからは「こんな弾けないよ」と云われ直したりし本当に悪戦苦闘して作曲しました。翌昭和34年5月に新婚はやほやの皇太子殿下、同妃殿下のご臨席のもと、新作の舞楽・管絃とともに樂部の舞台でご披露申し上げました。

作曲中の4か月、寝ても覚めてもオタマジヤクシが頭の中をグルグル泳ぎ回り、気も狂わんばかりでしたが、この体験が後に活かされて、NHK委嘱の現代雅楽作品、廃絶雅楽曲の復興、敦煌琵琶譜による復元・正倉院樂器合奏曲、そして皇太子殿下御成婚25年祝典曲のほか皇室祝賀の音楽(洋楽)の作曲につながっていき、気が付きますと和洋200曲余りの作品が溜まっていました。

### オーケストラ曲CD『幻遙』

II 雅楽曲や敦煌の曲などは演奏会やCDなどでお聞きしたことはあるのですが、オーケストラ曲をお聞きすることは出来ますか。

(芝)「オーケストラの曲は全て宮内庁樂部代のものです。樂譜は残っているものの、これらの曲のほとんどが1回のみの演奏で中には未演奏のものもあり、音として聴くことがもはや叶わないことに、長い間寂しさといつおしさを感じおりましたが、昨年5月に多くの関係者のご尽力により、十束尚宏指揮、

できました。CDのタイトルは『芝祐靖の音樂オーケストラ作品集 幻遙』(※1)です。作曲者として夢のようこの上もない喜びひと思っています。今日はお土産として差し上げますので是非聴いてみてください。』

II ありがとうございます。この中に先生の作曲されましたオーケストラ曲が11曲も入つているのですね。帰りますからすぐにお聴かせていただきま

す。楽しみです。

### 雅楽への想い

II ところで文化勲章受章の理由の中にあります先生の演奏活動や作曲、復曲の活動などを教えていただけますか。また先生の雅楽への

想いもお聞かせください。

(芝)「最近は、雅楽の樂器を習い、合奏を楽しむ方々が増えまして、各地に雅楽会が作られ、コンサートを行っております。とても喜ばしい現象と 思います。

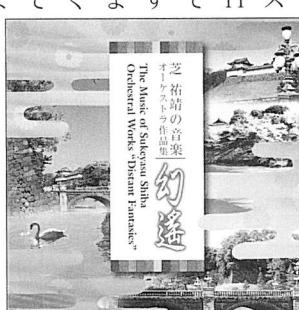
雅楽は、1300年も前に中国から伝えられ、その音楽や舞を学んだ日本人が、それを絶やさないよう、大切に伝承して今日に至っております。

その長い歴史を語ることは、とても不可能

ですでの、ここでは私自身が体験したこと、そして、これから「雅楽」への想いを、お話をさせて戴きます。

### 雅楽への道

なぜ私が「雅楽」の道を選んだのか、これは自分が選んだのではなくて、たまたま先祖代々、雅楽を生業にしてきた、家系に生まれた為です。

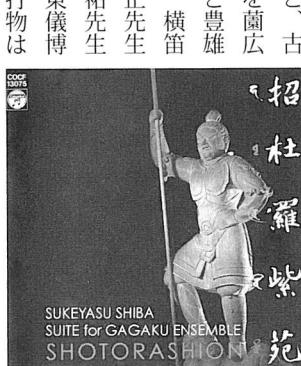


CD『芝祐靖オーケストラ作品集 幻遙』

てが貰え、何とか食べていかれる」ということが家では一切、雅楽の音を聴くことはありませんでした。父はもちろん、既に樂部の樂師であつた長兄の祐久も雅楽の横笛を吹きません。我が家で響いたのはヘンデル、モーツアルトそしてベートーベンでした。クリスチヤンの母は教会のオルガンを弾き、長兄はヴァイオリンが得意だったので、夕食後にはベートーベンのヴァイオリン・ソナタなどを二人で楽しんでいました。狭い我が家でしたので否応無しに耳に入り、かなり多くのヴァイオリン・ソナタが現在でも耳に残っています。後にバッハやブランームスを好んで聴くようになったのは、母と兄の合奏に感化されたように思います。

### 一対一の贊沢な稽古

一方、私が雅楽を習い始めたのは、昭和24年、13歳のときからで、皇居の北の丸にある「宮内庁樂部」という建物の中の稽古場へ通いました。そこで稽古は、師匠と一対一の贊沢な稽古で、古代歌謡や横笛、舞、そして絃樂器の琵琶などを教わりました。思い起しますと、古代歌謡を蘭広進先生と豊雄秋先生、横笛を上近正先生と芝孝祐先生、琵琶を東儀博先生、打物は





## 世界に誇れる芸術音楽として

しかしその作品内容は奈良・平安時代を伝える優れた伝統芸術の粹です。私にとって先生方から叩き込まれた雅楽は宝物です。その宝物が光り続けるように磨くのが我々伶人の使命です。雅楽演奏家の方々は心して真の雅楽演奏を志し、そして、世界に誇れる芸術音楽として磨き上げていただきたいと願っています。

調和（アンサンブル）の原点と言える「詩歌管絃」と「舞楽」を奏でるためには、まず「心の調和」と「技量の向上」を心がけるべきと思います。深奥な雅楽の神髄を知ることは、ほとんど不可能なことです、探し求め心を持ち続けたいと思います。

### 小中学校での雅楽の演奏

○先生は文化庁のお仕事として全国の小中学校での雅楽の演奏もされていますね。

（芝）「私は宮内庁楽部への勤務は30年間ほどで、昭和59年に退職して在野の楽人となりました。

ちょうど、そのころです。近くの中学校から、課外授業で、生徒に雅楽を聴かせてほしい、という依頼がありました。せっかくの申



今後、百年そして千年と  
先ほどお話ししましたが、雅楽のスロー  
テンポは、明治時代における「雅楽変革」の  
重要なポイントであった、と気づきました。

11年ほど前より、文化庁が「文化芸術による

し出なので、笙と篠篥の演奏家を頼んで、教室に向かいました。

少しばかり、雅楽の歴史を話したり、楽器の紹介をしてから、越天樂を聞いてもらいました。10名ほどの生徒は、神妙な顔をして聴いてくれました。

演奏後に「どうですか、何か質問はありますか」と尋ねましたところ、「笙の音が、とても澄んでいて、奇麗でした」とか「篠篥は小さな楽器なのに、すごい大きな音なので、びっくりしました」と感想がありましたが、次の男子生徒の質問には驚かされました。「音楽の教科書に『越天樂・今様』という歌があります。それを習いましたが、今聴いた越天樂のテンポが、ずいぶん遅く感じました。何故ですか？」…。

この思いもよらない質問に、返答に窮してしまって、「まあ何と言いましょうか：これが『伝統』というものですね」と苦し紛れの返事をしました。

生徒さんは、半信半疑の顔をしていましたが、質問が続かなかつたので、ホッとしました次第です。

私自身、何年もの間、スロー・テンポを、疑いもなく、演奏し続けて参りましたので、中学生からの質問が、かなり強く、心に残つておりました。

（芝）「これまでの作曲や復曲などを書き出し

子供の育成事業」を始めて、日本の伝統芸能やオーケストラ、バレエなどを、小・中学生に鑑賞して貰っています。私も「伶樂舎」という小さな雅楽グループと一緒に、今年は南九州・沖縄の小・中学校を廻っています。また数日後から九州・沖縄へ出かけます。越天樂など古典の楽曲を演奏しますと、始めのうちは、珍しい楽器を見たりしておりますが、2分もすると段々と目が細くなり、下を向いてしまいます。

### 軽く、爽やかな演奏法の復活を

これではいけないと思い、わらべ歌を雅楽風にアレンジしたり、訪問先の学校の校歌を

雅楽に編曲して演奏しますと、下を向く子供は、ほとんどおりません。また2部では『ボン太と神鳴り様』という「昔ばなし」の語りの合間に、雅楽を付けてみました。

主人公が踊る場面の、軽く、アップテンポ

の雅楽曲に、手を叩いたり、足を踏み鳴らしたりして、反応してくれました。

雅楽が今後、百年そして千年と続くには、子供たちの雅楽への親しみが、とても大切であります。

雅楽が復活するのを、願つております。

（芝）「はい、是非読ませていただきます。

今日はお忙しいところ、長時間にわたりいろいろなお話を聞かせていただき、本当にありがとうございました。先生の益々のご活躍

とご健康をお祈りしております。

（芝）「ありがとうございます。」

（芝）「聞き手・鈴木治夫

（※1）CD『芝祐靖の音楽 オーケストラ

作品集 幻想』3000円（税別）ブックレ

ット40頁 商品番号VZCG-806

（※2）『雅楽通解 楽史編』P335

（※3）『伶樂樂遊 芝祐靖と雅楽の現代』

272ページ 2200円（税別）

発行（株）アルテスパブリッジング

てありますのでご覧ください。

（曲目などの一覧表を見ていた

だく）たくさんの曲がありますね。

（芝）この一覧表にはジヤンル別に分類さ

れて、楽曲名、演奏人数、所要時間、編成、

作曲年月なども書かれていますね。ぜひ「雅

楽だより」に掲載させてください。

新刊『芝祐靖と雅楽の現代』（※3）

（※1）CD『芝祐靖の音楽 オーケストラ

作品集 幻想』3000円（税別）ブックレ

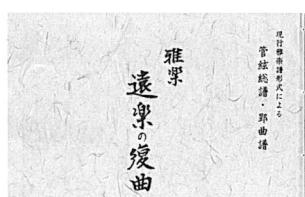
ット40頁 商品番号VZCG-806

（※2）『雅楽通解 楽史編』P335

（※3）『伶樂樂遊 芝祐靖と雅楽の現代』

272ページ 2200円（税別）

発行（株）アルテスパブリッジング



『雅楽 遠樂の復曲』1997年

## 芝祐靖・作品目録・CD

## 創作曲

## 大人數合奏曲

1962年

1963年

1964年

1965年

1966年

1967年

1968年

1969年

1970年

1971年

1972年

1973年

1974年

1975年

1976年

1977年

1978年

1979年

1980年

1981年

1982年

1983年

1984年

1985年

1986年

1987年

1988年

1989年

1990年

1991年

1992年

1993年

1994年

1995年

1996年

1997年

1998年

1999年

2000年

2001年

2002年

2003年

2004年

2005年

2006年

2007年

2008年

2009年

2010年

2011年

2012年

2013年

2014年

2015年

2016年

2017年

2018年

2019年

2020年

2021年

2022年

2023年

2024年

2025年

2026年

2027年

2028年

2029年

2030年

2031年

2032年

2033年

2034年

2035年

2036年

2037年

2038年

2039年

2040年

2041年

2042年

2043年

2044年

2045年

2046年

2047年

2048年

2049年

2050年

2051年

2052年

2053年

2054年

2055年

2056年

2057年

2058年

2059年

2060年

2061年

2062年

2063年

2064年

2065年

2066年

2067年

2068年

2069年

2070年

2071年

2072年

2073年

2074年

2075年

2076年

2077年

2078年

2079年

2080年

2081年

2082年

2083年

2084年

2085年

2086年

2087年

2088年

2089年

2090年

2091年

2092年

2093年

2094年

2095年

2096年

2097年

2098年

2099年

2000年

2001年

2002年

2003年

2004年

2005年

2006年

2007年

2008年

2009年

2010年

2011年

2012年

2013年

2014年

2015年

2016年

2017年

2018年

2019年

2020年

2021年

2022年

2023年

2024年

2025年

2026年

2027年

2028年

2029年

2030年

2031年

2032年

2033年

2034年

2035年

2036年

2037年

2038年

2039年

2040年

2041年

2042年

2043年

2044年

2045年

2046年

2047年

2048年

2049年

2050年

2051年

2052年

2053年

2054年

2055年

2056年

2057年

2058年

2059年

2060年

2061年

2062年

2063年

2064年

2065年

2066年

2067年

2068年

2069年

2070年

2071年

2072年

2073年

2074年

2075年

2076年

2077年

2078年

2079年

2080年

2081年

2082年

2083年

2084年

2085年

2086年

2087年

2088年

2089年

2090年

2091年

2092年

2093年

2094年

2095年

2096年

2097年

2098年

2099年

2000年

2001年

2002年

2003年

2004年

2005年

2006年

2007年

2008年

2009年

2010年

2011年

2012年

2013年

2014年

2015年

2016年

2017年

2018年

2019年

2020年

2021年

2022年

2023年

2024年

2025年

2026年

2027年

2028年

2029年

2030年

2031年

2032年

2033年

2034年

2035年

2036年

2037年

2038年

2039年

2040年

2041年

2042年

2043年

2044年

2045年

2046年

2047年

2048年

2049年

2050年

2051年

2052年

2053年

2054年

2055年

2056年

2057年

2058年

2059年

2060年

2061年

2062年

2063年

2064年

2065年

2066年

2067年

2068年

2069年

2070年

(1ページ) 下段末より

日本芸術院会員  
2011年 文化功労者  
2017年 文化勲章受章

れ、それが今の雅樂の基になるわけですが、それは宮廷や大きな社寺など、社会の上層部に広がつただけでした。しかも平安時代には日本の上層部の人々の感覚に合う形に直しました。

ところが明治以降、日本の政府は伝統音樂を無視して、クラシックを唯一つのすぐれた音楽として強制的に全国民に教え込んだのです。たとえば江戸時代の末までの音樂は紫色だったのに、これからは赤でなければならぬと政府が決めて変えてしまつたわけです。ですから今では紫色は日本の音樂の中では細い帯のようになくなってしましました。というわけで世界の音樂の中で日本音樂は? と問われた場合、堂々と伝統音樂であるとはい難い状況ができてしまつたわけです。

これは本当に恥ずかしい情けない状況ではないでしょうか。学校の教育は伝統音樂を学ぶ方向にはなつてきていますが、あくまで基本はクラシックで、伝統音樂をとり入れるということなのです。

私はもちろんクラシックを否定しているわけではありません。私自身もクラシックを受け入れていますし、日本音樂の現状はリアルに見ています。だからこそ伝統音樂が日本を代表する音樂であると自信と誇りをもつていいるように、はつきりと舵を伝統文化、伝統音樂に向けるべきだと思うのです。今ならまだその可能性はあると思うのです。皆様はどう思われますでしょうか。

## ケルン大学雅楽アンサンブル

有志による日本演奏旅行  
(同アンサンブルファンクラブ・図書館司書)

バーバラ・ザック  
同行者による記録

### 音のルーツを訪ねて

#### 文化に根付いた雅楽

日本からほぼ1万キロ離れたドイツの地で雅楽の理論と実技を学ぶ学生がいると聞けば日本の雅楽演奏者の皆様はどのように思われるでしょうか。それも日本人ではなく、ドイツ人の学生です。日本の譜面とCDを頼りに時には日本から雅楽の先生に指導をして頂き年に数度の演奏会を行っているのが、ケルン大学雅楽アンサンブルです。

ほぼ欠かさず毎週、雅樂のお稽古を続けて17年、ヨーロッパで唯一の雅楽団体です。この雅楽アンサンブルは2000年に故口ベルト・ギュンター・ケルン大学名誉教授とハワイ雅楽研究会の社本正登司先生によつて結成されました。

昨年(2017年)9月14日から27日に掛けて、ケルン雅楽アンサンブルの有志は自的に日本で雅楽研修を実行しました。筆者は雅楽を演奏しませんが、同アンサンブルのファンとしてこの研修旅行を記録する目的で参加しました。この自主練の一端をここで報告したいと思います。

ヨーロッパ人にとって雅楽は全く未知の音楽です。そもそもクラシックから言えば、本

当に雅楽は音楽なの?という質問がされることがあります。ましてや雅楽に音楽理論があるなど知る人は極めてわずかでしょう。

ケルンでは日本通のドイツ人が多くいますので、雅楽演奏会は来客で埋め尽くされます。それでも感想を聞くと「アバンギャルドの音樂みたいだ」(はつきり言うと奇妙な音樂といふところでしようか)という声は少なくありません。それは、雅楽の音がドイツの文化とつながっていないため、どのように雅楽の音を理解したらよいのか、ドイツ人にはわからぬのです。

そこで私は今回、研修旅行に同行して雅楽のルーツを探り、日本文化や生活に根差した雅楽を聞いてみたいと思いました。もしかすると雅楽がドイツになじむヒントがあるかも知れないと思ったからです。ケルン雅楽アンサンブルは、実は社本先生によってハワイから海を越えて伝承された雅楽を始まりとしています。ですから日本→ハワイ→ドイツ、この地球を一周した雅楽はドイツの雅楽になる可能性を持つていると思うのです。とはいえる限り日本雅楽を踏襲するという姿勢です。どうのように発展していくのでしょうか。

日本の雅楽、ドイツの雅楽、さて、これから話を探修旅行にもどしましょう。まず東京です。私たちは幸いに東京や京都の雅楽団体の先生方にご指導頂く事ができました。諸先生方の紹介と案内によつて、私たちは東京では皇居見学や伝統的な神社の秋祭りに参加させて頂くことができました。皇居は東京のお

へそに当たる場所に位置し、皇居を覆う森の木々は静謐な空氣を造り出していました。雅

楽道友会の千田兼宏先生が私たちを引率してくれました。皇居の宮内庁式部職楽部の厳と、池邊光彦先生が、宮内庁式部職楽部の厳かな雅楽舞台や練習場を案内して下さいました。雅楽は天皇陛下がつとめられる様々な皇

居内の祭儀に演奏されるそうです。雅楽をする者にとって、皇居は音の聖地だと感じました。

雅楽は古代、中国で発達した祭儀音楽だとケルンで説明を受けたことがあります。清らかな音を演奏することで国が治まるとか。清らかな音は人の心を和ませてくれるので、大勢の人方が心を合わせて、和やかな音を奏ずることで国に平和が宿るということなのでしょう。ある意味、論理的ですね。



宮内庁楽部を見学するアンサンブルのメンバー  
案内する池邊光彦先生(前列左より二人目)



雨の中、掛け声とともに神輿を担ぐアンサンブルメンバー



神輿の先頭で雅楽を演奏するアンサンブルメンバー

皇居を訪れた後日、下神明天祖神社の宮司で、同時に雅楽道友会(どうゆうかい)、染長の福岡三朗先生のご配慮により、氏子さんと一緒に秋祭りに参

加することができました。渡御の日は朝から大雨。びしょ濡れになりながら氏子の方々に交じって、ドイツ人学生は道楽に参加したり神輿を担いだり致しました。神輿は肩の皮膚が擦り切れるほど重いものでした。くたくたになりながらも日本人に交じって大張り切り。その夜、神社では雅楽の奉楽があり、私たちも末席で演奏させて頂きました。神輿担ぎとそれに携わった人々の姿は、あたかも流れる溶岩のようで、熱く沸々としたエネルギーの塊に思えました。

それに比して夜の奉楽は暗闇にともされた神殿の灯に溶け込んだ静かな雅楽の音色を聴きました。極端なまでの静と動。雅楽が静と動の両極の空氣に馴染むとは、なんて不思議な音でしょうか。

祭りの後は雅楽道友会会員の皆さんとの懇親会。はち切れんばかりに賑やかで楽しい会でした。その懇親会にはケルンで雅楽指導をして下さった豊英秋ぶんのきあき先生も、大いに差し入れをして下さいました。

関東における、もう一つの行事は栃木県にある古峯神社での雅楽合宿でした。福岡三朗先生はじめ雅楽道友会の先生方から集中的に雅楽を習う事ができました。練習に参加しない私はその間、美しい日本庭園を散歩する事ができました。日本庭園の構造的な美しさと日本の自然が造りだす静寂。その静けさは、少し前まで見た都心に林立したビルとそこへ響き渡る喧騒とコントラストをなすものであり、私の心に焼き付いています。そのどちらもまさに日本の姿なのですね。



## 雅楽道友会の方々と一緒に

都では二条城の近くに雅楽教室を開催する藤村正則先生が懇親会やゲームで私たちを楽しませて下さいました。そこでは初めて子供の雅楽演奏家と知り合う事ができました。なんど楽しい夕べだったことでしよう。将来、彼らがケルンへ来て演奏会をしてくれるのでしょうか、楽しみです。また京都から私たちは琵琶湖まで足を延ばしました。湖畔にはケル



雅楽の合奏練習

担ぎの掛け声や、氏子のおばあちゃんの笑顔、お酒の味、京都のちびっこ楽人さんや天理教の教会など、素敵な風景が次から次へと沸き起こります。そうした風景や人々の顔を思い出しながら、そういう音だつたなあ、と考えながら雅楽を演奏するとき、私たちの雅楽はケルンであつても、日本文化を担つた音を作り出せるように思えます。私は雅楽を演奏致しませんが、これから先もケルン雅楽アンサンブルに付き添つてみたいと思います。



## 子ども達の雅楽の演奏

雅楽研修旅行の全般的なスケ  
で下さった雅楽道友会の佐藤  
なご指導を下さった新屋治先  
生、またケルン雅楽アンサン  
尽力下さった鈴木治夫先生も  
さり、同じく笙でお世話にな  
生ともお会いできました。お  
た関係者の先生方に厚くお礼  
。。次回、ケルンでお会いでき

(原文ドイツ語)

## 雅楽——中学校教育での私の指導——

川口市立戸塚西中学校教諭

石黒 賢

一昨年正月元旦から二日の朝にかけ大日堂舞楽を取り材させて頂いた。秋田県八幡平は、まだ雪の中であつた。舞楽といつても、継体天皇の御代に都から伝わつた舞楽である。舞はダンブリ長者の物語に基づいてふりつけられている。中でも人気のある五大尊舞は、金剛界の大日如来と胎藏界の大日如来がダンブリ長者に化身し、普賢、文殊、八幡、不動の四大明王が仕えたさまをその面を付けて舞つたものである。太鼓、祭文、板子の囃子に合わせて舞われている。私は前日から、小豆沢の権現舞を取り材させてもらつた。元旦に全員が集まり衣装を身に着け、家々を回り権現舞を神に捧げて廻る。権現舞は二本の笛が加わる。能衆といわれる舞人は水で体を淨める。家々を廻り夜明けには大日堂に到着し各部落の舞の競演が始まる。

さて、私は自分で取材した資料とVTRを編集して、今年度中学三年生の鑑賞の授業で大日堂舞楽を指導した。現在、中学校の音楽では日本の伝統芸能や地域の郷土芸能を教えることとなつてゐる。さらに、和楽器を一種類以上演奏させ、我が国の伝統音楽の旋律を歌わせることにもなつてゐる。私は二十年前に雅楽で使用する簞篥を生徒全員に教え始めた。当時中学校でよくやられていたのは、和楽器だけを西洋音楽に混ぜて吹く方法であった。これは西洋の音階で使用

されている長音階や短音階に当てはめて合奏していく方法であつた。一番手取り早い方法で和楽器を演奏させたという実績になるのでほんどうがこの方法であつた。しかし、私はそうではなく、文化としての雅楽を丸ごと体验させることが大切であると考えた。楽座して唱歌から入り、曲の旋律を唱歌し覚えてから簞篥を演奏させる指導方法を考案した。

雅楽界では当たり前のことであるが、当時中学校の音楽の授業では珍しいことであつた。当時NHKでも私の授業風景が流された。幸いにも故東儀兼彦先生から簞篥を教わることができ、安斎省吾先生からも音楽授業のアドバイスをいただけたこともあり、正しい指導法であると自分で確信を持つことができた。

私の雅楽の授業は二十年前から一貫して下記のようにしてきたのでご紹介したい。

### 実践事例1 「和楽器簞篥を取り入れた

#### 楽しい授業のアイディア

我が国の音楽が多種多様であるように、和楽器もその種類が多くあることは広くご承知のことおりである。私は、その多種に渡る我が国の音楽で使用される和楽器の中から、雅楽の簞篥を授業で扱うこととした。

現在は静かな邦楽ブームとなつてゐるが、我が国の伝統音楽は、中学生における音楽の流行からするとかけ離れたものであるといつても間違いではない。雅楽「越天樂」の鑑賞授業を行うには、自ら表現することが重要であり学習効果が高いといえる。雅楽「越天樂」

は、中学校学習指導要領（平成元年）音楽科1学年鑑賞の共通教材にも挙げられていた。

我が国の伝統音楽をいかに楽しんで聴取させることができるか。それが簞篥を扱うそもそものきっかけでもあった。

つまり、表現と鑑賞の一体化した授業計画を試みて、生徒が分かる授業、楽しい授業を目指したのである。結果、中学生が日本の伝統文化にも五感で触れ、体験学習や問題解決的学習を容易に行うことができた。また、生徒は日本の文化としての音楽を学習した。

和楽器簞篥は、個人持ちで生徒全員に購入してもらっているところである。現在全国のほとんどの中学校ではアルトリコーダーを全員に持たせている場合が多い。団体購入するとアルトリコーダーと変わらない価格で簞篥を購入することができた。4年前からアルトリコーダーから簞篥に切り替えて、生徒各自に購入してもらっている。リコーダー活用の利点は認めるが、小学生の時に購入し持つていているソプラノリコーダーがあればよいと考える。アルトリコーダーはテナー・バリトン・リコーダーと同様に備品として学校で揃えてある。近隣に雅楽会等がある場合は、参加させていただくことが、一番の上達の近道である。雅楽会等が無い場合は、まず初めに、一日位時間をかけて簞篥演奏のための実技講習会に参加することをお勧めしたい。演奏の方があつたが分からなければ教えることは出来ない。

ほとんどの初心者向けの講習会では雅楽「越天樂」が教材となるはずである。次に書籍やビデオソフト等で学び、さらに研修を積むことが肝要である。我が国の音楽を習得するときには、所作であるとか、音楽の遊び方も学ばなければならないことに留意する必要がある。いわゆる文化としての音楽を学ぶわけで



膝を叩いて唱歌する中学生

おき合奏時に活用することができる。アルトリコーダーよりも簞篥を生徒全員に持つてもらい、我が国の伝統音楽である雅楽に触れ、我が国の文化としての音楽に触れてもらうことはのほうが大切であると考える。さらに今年度は笙と横笛を各二本ずつ備品として揃えていた。これで雅楽の三管が揃うことになつた。しかし、樂太鼓、鉦鼓、樂琵琶、樂箏は値段が張る。全部揃えて管絃合奏が行えれば理想であるが、精選された教育内容を行う授業時数をも考えると、簞篥で雅楽「越天樂」を演奏できただけでも価値あることだと考える。

ところで、生徒全員に簞篥を購入してもらつてるので、教師自身が直接楽器簞篥で雅楽「越天樂」が演奏できることが前提条件であると考え実践している。私自身も雅楽「越天樂」を唱歌し、何とか演奏できるくらいである。近隣に雅楽会等がある場合は、参加させていただくことが、一番の上達の近道である。雅楽会等が無い場合は、まず初めに、一日位時間をかけて簞篥演奏のための実技講習会に参加することをお勧めしたい。演奏の仕方が分からなければ教えることは出来ない。

ほとんどの初心者向けの講習会では雅楽「越天樂」が教材となるはずである。次に書籍やビデオソフト等で学び、さらに研修を積むことが肝要である。我が国の音楽を習得するときには、所作であるとか、音楽の遊び方も学ばなければならないことに留意する必要がある。いわゆる文化としての音楽を学ぶわけで



筆箋を演奏する中学生

ある。つまり、唱歌を教わることから始めて自分で唱歌を覚え、唱歌譜を理解するという順番である。唱歌が歌えるようになつたら次に乐器筆箋の演奏法を習得していく。もちろん、毎日少しづつでも唱歌から入り、筆箋演奏と練習していくと効果があげられる。私も毎日唱歌を口にしているうちに、唱歌をしないと一日が終わらないくらいである。声楽や管楽器の呼吸法を習得していれば決して難しいことではないと実感している。

授業で雅楽を扱う場合、近隣に雅楽会の方がボランティアとして来ていただけるのであれば、ゲストティーチャーとしてお招きして授業していただくことが良いと考える。しかし、ほとんどの学校は、そのような環境がないのが現状であろう。また、可能であるならば一度位は楽師の方に来ていただき、本物

の音を聴かせていただき、雅楽について教えていただることは貴重である。私の考える授業では、教師自身が自ら学習し、ある程度演奏できることが望ましい。生徒とともに学べるからである。全て外部講師にだけに頼つているのでは授業も成立できない。我が国の伝統音楽は学び方から学ばなくてはならない。師匠から楽師が手ほどきを受ける伝承の形を学ぶことも重要な学習であるといえる。要するに、教師と生徒が師匠と弟子の関係にならなければならぬのである。その中で、唱歌を口伝えに教わり、筆箋の演奏法を習得していくのである。教師自身がやる気になれば、決して難しいことではない。

筆箋で雅楽「越天樂」を演奏できるようにするには、五線譜を読みとり演奏していく学習方法とは異なるものである。雅楽の習得は前述したように唱歌を教わり、筆箋唱歌を自らが歌い唱え覚えてから、唱歌の節を楽器筆箋で模倣しながら演奏していく。それも唱歌は楽座して手と膝を叩き合わせて拍子を取り所作に合わせながら覚えていく学習を行つていい。つまり文化としての音楽を学ぶ必要がある。さらには、その唱歌を模倣するようになり、続いて楽器筆箋の表現を中心とした心とした授業を実施し、その後雅楽

筆箋のリードを削り調整する  
石黒先生と生徒

しろ自分にやる気が有るか無いかであると思つた。25年前に覚えた筆箋唱歌ではあるが、今はなぜか違和感もない。考えてみると、筆箋の音色は我々の生活環境（正月や結婚式）にも時々耳にするし、我々日本人には受け入れやすい音楽ではないかと思えてならない。

雅楽は1300年もの長きに渡り日本で伝承され続けてきた。雅楽の歴史は様々な記録による音楽の周辺要素がはつきりしており、インターネットや図書資料を活用した問題解決的な学習を行いやさしいという利点がある。（現在は授業時間削減の折、この学習は自宅学習としている。）また、雅楽には雅楽「越天樂」という大変優れた教材があり、雅楽「越天樂」は中学生という発達段階に合致しており、中学生には受け入れやすい教材でもある。筆箋で雅楽「越天樂」を演奏する表現学習を行つておくと、雅楽「越天樂」を鑑賞する学習において生徒の興味・関心を高めるという点で大変有効であるといえる。現在は雅楽「越天樂」の筆箋唱歌か

ら入り、続いて楽器筆箋の表現を中心とした心とした授業を実施し、その後雅楽

の鑑賞を中心とした授業を実施している。

さて、年間学習指導計画の鑑賞領域におい

て、1学年でアジアの音楽としてインドネシア・バリ島のガムラン音楽（ゴン・クビヤル）のオーケストラ、2学年では西洋で発達した管弦楽合奏であるオーケストラ、3学年で我が国の雅楽管絃のオーケストラを対比して学習することができる。さらには広義での雅楽には舞楽があり、それぞれの音楽を「文化としての音楽」や「総合芸術」としておさえることができ。このことはガムラン舞踊（1学年）、オペラ（2学年）、舞楽（3学年）の結果としての比較学習が可能となり、効果的な年間学習指導計画の配列が可能となる。

また授業回数も雅楽の表現（4時間）と鑑賞（3時間）に7単位時間当てても決して長くはないと考え実施している。私の経験では全員に和楽器筆箋を持たせ指導するのであれば、生徒の身心の発達段階やレディネスから中学校で扱つことが望ましいという結論に達し実践している。また、個人で購入してもらうのだから、例えば一学期間位にまたがつて授業の初めに必ず筆箋を5分間演奏する等の工夫も必要である。

また、筆箋本体はめつたに壊れることはない。しかし盧舌（リード）は葦を材料としてダブルリードとなつてるので、破損しやすい。生徒にはとり扱いに留意するように、初めての授業で説明する。個人で購入すると高価なものとなることも、前もって生徒に伝えておくと盧舌を大切にする。盧舌は初めから削つてあるものを購入する。少し厚めであれば

紙やすりで薄く削る。盧舌は、当たり前に使  
用していると一年くらい使用可能である。私  
自身2ヶ月間ほとんど毎日授業で使用して、  
同じ盧舌を3年間使用している。湿気を残し  
てしまうと黴びることもあるので留意させた  
い。また、盧舌を歯で噛んでしまったり、落  
下させて割つてしまふ場合も希にあるので、  
あらかじめ予想される破損原因をよく周知さ  
せておくことも大切である。また、蘆舌は消  
耗品で予備として用意しておくことが望まし  
い。さらには、自分で盧舌を作成することも  
できる。

前述してきたように、雅楽を理解するには  
雅楽を構成している要素の理解が最低限必要  
となる。樂座、唱歌、唱歌譜、筆箋（その他  
の樂器）、塩梅、樂士、雅樂「越天樂」、舞樂、  
…。これらを中学生が理解するには、ただ聴  
取ることに留まらず、雅樂の伝承の仕方を  
丸ごと体験することが一番の近道であると考  
える。つまり、文化としての音楽を学ぶとい  
うスタンスに立つ必要がある。

国際化が進む中、我々日本人は、我が國の  
文化としての伝統音楽を知らなければならな  
い。いわゆる西洋音楽といわれる音楽の理屈  
では、東洋の音楽は説明できない。それぞれ  
の文化は相対的であり育まれた土壤が違う。  
聴取するだけの鑑賞領域の授業をしているだ  
けでは中学生には日本の音楽は分かりづらい  
(楽しくはない)。だから、3年間で和樂器を  
一種類以上表現し、日本の文化としての伝統  
音楽を体験することが求められていると考え

る。どこの国の人々も自国の音楽は大切にし  
ていて。我々日本人も、我が国の伝統音楽を  
愛好し表現できること（最低限説明できるこ  
と）が大切であると考える。その上で、世界  
の音楽も表現したり、鑑賞して分かるならば  
理にかなっていると言えるのではないか。  
※「和樂器筆箋を取り入れた楽しい授業のア  
イディア」石黒賢『教室の和樂器』音楽之友  
社（二〇〇二年刊）に掲載したものから修正・  
抜粋。写真 竹原伸治氏

### 「焼却炉建設問題から手に入れたもの」

#### 高槻・五領の環境と子どもの

未来を守る会

代表 上田博夫

平成28（2016）年末に事業者から焼却  
炉建設計画の話が舞い込みました。上牧町と  
して建設反対の声を上げるとともに五領地区  
全体に協力を呼びかけ、3月3日に本澄寺さ  
ん客殿において二つの自治会と有志による第  
一回会議を持ち「産廃焼却炉対策協議会」を  
立ち上げ、住民運動としてスタートしました。

当初の活動内容は、ホームページの開設と  
チラシの配布、高槻市長宛の意見書の提出、  
議員各会派への働きかけなどでした。行政を  
突き動かすには署名活動が重要であるとの事  
から、当初五万筆を目指して署名活動がスタ  
ートしました。五領地区には上牧・鶴殿のヨ  
シ原があり、筆箋用ヨシを実質管理する伊藤  
昭三上牧実行組合長から、雅樂協議会様に署  
名によるご支援をお願い致しましたところ、

四千八百十一筆もの署名を雅樂関係の方か  
ら頂戴致しました。この書面をお借りしまし  
て厚く御礼申し上げます。一般署名と合わせ  
て最終的に十万筆を超えました。

活動経過としましては、五領公民館での事  
業者説明会があり、約七百名の方が会場に入  
れず溢れかえりました。その後、濱田高槻市  
長との面談が実現しました。二回のパレード  
の実施、専門家による環境セミナーを開催聽  
講し、環境への影響がより理解出来ました。

雅樂協議会様をはじめとして私たちの地域  
を超えた働きかけ、議員各会派や行政への働  
きかけが功を奏したのか、5月29日に事業者  
が焼却炉建設計画を取り下げました。また、  
6月22日には高槻市議会本会議にて「高槻市  
廃棄物処理施設に係る手続きの特例に関する  
条例」が制定されました。これを受け、7月  
31日をもって「産廃焼却炉対策協議会」を発  
展的に改称・改組して「高槻・五領の環境と  
子どもの未来を守る会」として、引き続きこ  
の五領地区の自然を守るために活動していま  
す。

この一連の住民運動を通して、自治体間の  
壁が破られ多くの人たちと知り合い、つなが  
りが出来ました。また、この五領地区の自然  
の素晴らしさ、郷土史を学ぶ大きさを再確認  
する良いキッカケとなりました。私たちはこ  
れらの得難いものを手に入れました。これも  
雅樂協議会の皆様をはじめとして多くの皆様  
にご支援頂いた結果であり感謝し、厚く御礼  
申し上げます。

上牧・鶴殿ヨシ原の今  
ヨシがつる草に押し倒され

昨年よりヨシが激減

ここ数年、上牧・鶴殿ヨシ原の筆箋用ヨシ  
は、本数も取れなくなり、質も年々悪くなっ  
てきていました。  
今年はどのようになつてているのだろうと心  
配で、宮内庁にヨシを納めている上牧実行組  
合の木村和男さんに写真を送つてもらいお話  
しもお聞きしました。

次ページの写真（①～⑦）は、木村さんが  
いつも良質のヨシを採取しているところの写  
真です。（11月26日撮影）

つる草がヨシを押し倒していくどこにヨシ  
が生えているかもわからないようになつてしま  
っています。



高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会の看板



写真① 每年良質の筆箋用のヨシが採取出来ていたところ。奥の方にすこしヨシが生育しているが、手前の方はつる草になぎ倒されている。

木村さんは「写真7枚は全て例年筆箋用のヨシを採取しているところの写真です。ご覧のようにどの箇所もつる草（カナムグラ）が去年よりもっとひどい。つる草がヨシに絡みついて、良いヨシが生えているところも今年はヨシが生えていない。これでは筆箋用のヨシが何本採取できるかとても心配です。昨年より少なくなるのは確実でしょう。」と話されました。

昨年も筆箋用のヨシはその前年よりも少なく、毎年毎年つる草はその勢いを増してヨシをなぎ倒していく。そしてここ数年ヨシは質が悪くなるだけではなく、本数も激減しています。



写真③ つる草はヨシに襲い掛かり、ヨシがいつまで持ちこたえるか時間の問題か？



写真② ヨシは全てつる草に倒されてしまっている。



写真⑤ 遠くにわずかにヨシが見える。筆箋に使えるかは不明。そこまでたどり着くのも困難。



写真④ ヨシのところまで、たどり着けるのか。  
筆箋に使えるヨシなのか。



写真⑦ ここもつる草がヨシを押し倒す。



写真⑥ この箇所のヨシは全滅。1本も取れそうもない。



写真⑨ 2006年のヨシ刈。  
ヨシ原の下流域でもヨシがすくすくと育っていた。



写真⑧ 2006年、ヨシの間から青空が見える。今では想像もつかない。

**12年前のヨシ原**  
左の写真⑨をご覧ください。ヨシがすくすくと育ち、ヨシの間から青空が見えます。写真⑨はヨシ刈の写真です。ヨシ原の下流域でもつる草を見ることはありませんでした。この2枚の写真は「雅楽だより」でヨシ原の取材を始めた12年前の写真です。



写真⑩ NEXCOが定期的に草を抜いた調査区域  
(2017年10月撮影 NEXCO西日本)

速急に対応策を講じないと、篠簾用のヨシは全滅してしまうのではないかと危惧されています。

写真⑩と写真⑪を見比べてください。昨年10月にNEXCOが撮影したヨシ原の写真です。

写真⑩は、ヨシが生えているのを見ることができます。この一角はNEXCOが調査区域として指定して、毎月1回程度、定期的に



写真⑪ 手を加えていないヨシ原  
(2017年10月撮影 NEXCO西日本)

ヨシ原のつる草を1回、2回抜いたからといつてつる草が生えてこないわけではないといいます。つる草は抜いても抜いても又生えてくる。それにもめげずにつる草を抜き続けなければヨシを守ることはできません。

NEXCOは、調査の一環として専門業者に依頼して、月に1回定期的につる草を抜くなどの対応をとってきたので、この区画だけはなんとかヨシを守っていくことが出来ています。

手を加えていなかったヨシ原は、手を入れて守つて来たヨシ原は、手を入れて守つていく以外に篠簾用のヨシを守つていく事はできないでしょう。

早急な対応策を講じることが求められています。地元の人たちと共に考え次の世代にも篠簾用のヨシを伝えていきたいと願っています。

### ヨシ原焼き

ヨシ原焼きを行えば、つる草などの種も焼かれるので、つる草の繁殖を抑えられると思われていました。そして昨年(2017年2月)のヨシ原焼きは行われました。しかし、それでもつる草の勢いの方が強かつたのでしょか。つる草は、さらに勢いを増してヨシをなぎ倒していました。

12年前は、つる草がはびることは予想できませんでした。ところが、それから10年余があつという間にヨシ原全体がつる草に覆われてしまいました。

10年余りでヨシ原の風景が激変してしまったのです。

### 早急な対応策が求められている

#### ヨシ原のつる草を抜いても生えてくるつる草

つる草を抜くためには、まず芽が出始めた時期は、出てきた芽を見分けてつる草の芽だけを抜いていかないといけません。なので機械で対応することは出来ないので、ヨシ原の面積は広いので相当の人数が必要とされます。そして定期的に必要な面積のつる草を抜いていかないと効果が出ません。

1回限りの事であればボランティアの人々に頼むことも出来るかも知れませんが、約半年間にわたり定期的にヨシ原に入り、つる草を抜いていかないといけません。夏のヨシ原は特に暑いので、長時間の作業はとても無理だそうです。しかし、つる草をどうにかして対応していくかないとヨシは育ちません。手を入れて守つて来たヨシ原は、手を入れて守つていく以外に篠簾用のヨシを守つていく事はできないでしょう。

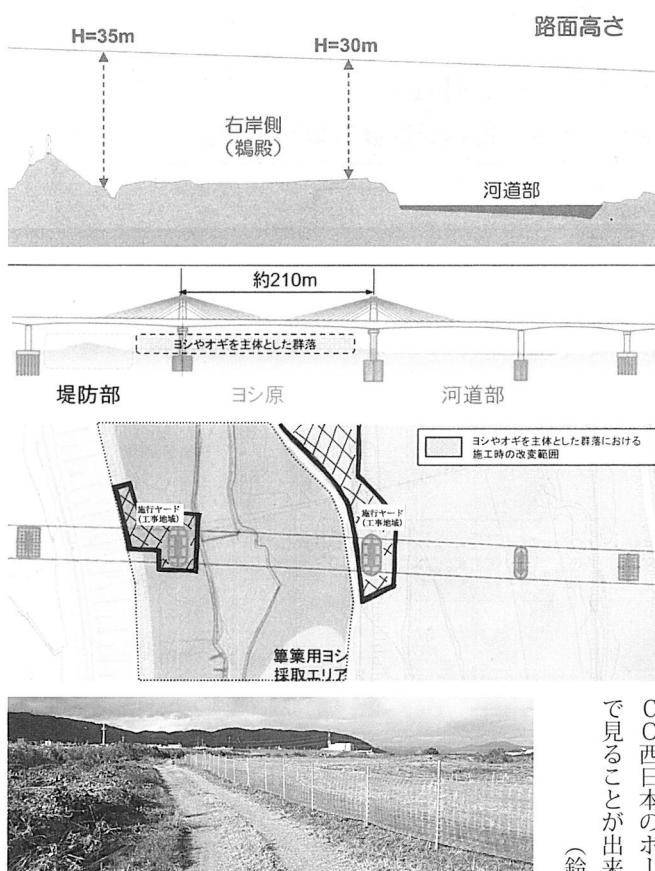
#### 抜いても抜いても

つる草を抜くためには、まず芽が出始めた時期は、出てきた芽を見分けてつる草の芽だけを抜いていかないといけません。なので機械で対応することは出来ないので、ヨシ原の面積は広いので相当の人数が必要とされます。そして定期的に必要な面積のつる草を抜いていかないと効果が出ません。

1回限りの事であればボランティアの人々に頼むことも出来るかも知れませんが、約半年間にわたり定期的にヨシ原に入り、つる草を抜いていかないといけません。夏のヨシ原は特に暑いので、長時間の作業はとても無理だそうです。しかし、つる草をどうにかして対応していくかないとヨシは育ちません。手を入れて守つて来たヨシ原は、手を入れて守つていく以外に篠簾用のヨシを守つていく事はできないでしょう。

## 台風で冠水

昨年の秋、10月22日の台風でヨシ原は冠水しました。冠水すると上流から栄養分が運ばれるのでヨシの生育が良くなるのではないかと思われていましたが、同時に草の種も運ばれてきて、繁殖力の強い草の方がヨシを押しのけて育つていくのではないかと危惧されています。



写真⑫ 高速道路建設工事いよいよ始まる。資材置き場などによる工事ヤードの草刈りを終え境目にフェンスを張り巡らす。(写真・NEXCO西日本)

## 高速道路建設の工事始まる

上牧・鶴殿ヨシ原を横断する新名神高速道路の着工の閣議決定(2012年4月6日)がなされてから5年、いよいよ高速道路の建設の工事が始まりました。

### 施工ヤード(工事地域)の草刈りをおえる

11月現在の工事の進み具合は、施工ヤード(左図斜線部分・資材置き場など)の草刈りが終ったところまでとのことです。(写真⑫)

#### ヨシ原より30m上に高速道路

高速道路の橋梁などの計画は、上図に示すようにヨシ原から高さ30m、橋脚は、堤防近くのヨシ原の中に1基と淀川沿いに1基の計2基で、橋脚の間は約210mです。橋は5年後の2023年を完成予定としています。

(高速道路の工事の進行状況などは、NEXCO西日本のホームページで見ることが出来ます。)(鈴木治夫)

## 現代語訳『樂家錄』(14)

監修 東京学芸大学教授 遠藤 徹  
十三 三管総論

### 第四十二 散樂の説(P488)

旧記に曰く「相撲の節会で、猿樂が出て舞うとき、「剣氣禪脱」を奏する。これを散樂というが、この曲を吹いて(それに)猿樂の節に奏を合わせることをいうのではなく、これまたまた興に乗じたものである。

云々(旧記を考えるに、「猿樂」「品玉」「刀玉」などのときにこの曲を奏する。云々『文献通考』『杜氏通典』等の書を見ると、中華〔中国〕にもこのことがあり、四方散樂というのがこれである。)

### 第四十三 比羅蘇合の説(P488)

「比羅蘇合」というのがある。この説に従うと、第七拍子の曲と四帖を除き、これを吹かない。この外は別に細かなことはない。

### 第四十四 蘇合の吹止の説(P488)

「蘇合」は盤渉調の曲である。しかしながら、毎帖の終わりは壱越の音で吹き止め、その説は旧記がいうには「この曲は、本は、「蘇合草」より起る。(詳しく述べ本朝の「樂説の卷」を見よ)

そもそも草は土より生まれ育つ。故にこの曲の吹止の音は、壱越の土の音を用いるのである。」と。(これは)永く絶えないようになると、一具が終わると、さらに「千秋樂」を奏し、盤渉の音で止める。このようにすると水と土が兼ね備わり、草が生育を成し遂げるという意味をもつようになる。

それでこのように吹き止めるのを決まりとするのである云々

また、常に急のみを奏し、盤渉で止める。但し、少し知つておくべき事がある。曰く、「壱越を以つて止めるようにして、実は盤渉で止める。」と。

およそ その詞(旋律)は 六引工。工引

このように吹く。これは古今の慣習である。笙、笛もこれに準じなさい。

### 冬～春までの主な雅楽演奏会など

NHK Eテレ 舞楽 FM 管絃

1月1日(月)午前9時～10時35分  
管絃 盤渉音取 千秋樂 越殿樂  
1月2日(火)NHK-TV(Eテレ)  
午前6時50分～7時10分 舞楽 散手破  
演奏 宮内庁式部職樂部

TVチャンネル「クラシカ・ジャパン」

1月1日(月)午前5時～10時35分  
管絃 平調音取 越殿樂 残樂三返 ほか  
石井眞木 紫響 雅楽のための音樂

舞楽 蘭陵王 ほか 演奏 東京樂所  
厳島神社 歳旦祭・地久祭 (広島)

1月5日(金)午前5時半より地久祭の祭典  
後舞楽 甘州 林歌 拔頭 還城樂 ほか  
演奏 厳島神社

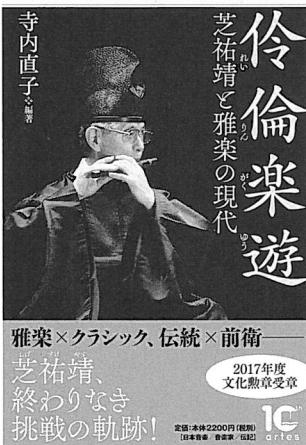
1月2日(火)午後1時～2日祭  
舞楽 万歳樂 延喜樂  
納曾利 太平樂 ほか  
舞樂 猛杵 胡德樂 蘭陵王

1月3日(水)元始祭  
舞樂 万歳樂 延喜樂  
天王寺樂所雅亮会(以和貴会)

<b>上賀茂神社 新年賀宴祭</b> (京都)	管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂
1月5日(金) 午後4時半	舞楽 胡蝶 演奏 平安雅樂会
問い合わせ Tel 075-781-0011	伶樂舍雅樂コンサート no.33
1月6日(土) 午後2時 四谷区民ホール	鶯の囁りといふ調べ ～春鶯囁を観る、聴く～ (東京)
前売3000円	舞楽 春鶯囁颯踏 入破
前売3000円	管絃 春鶯囁一具 (毫越調調子) 遊声 風踏
前売3000円	入破 鳥声 急声
問い合わせ Tel 03-5269-2011	問合せ Tel 03-5269-2011
<b>春日大社 舞楽始式</b>	春日大社奉納舞楽 (奈良)
1月8日(月) 午後1時 林檎の庭	管絃 平調音取 伊勢の海
舞楽 振鉢三節 長保樂 蘭陵王 長慶子	舞楽 振鉢三節 延喜樂 抜頭 長慶子
問い合わせ Tel 0742-22-7788	問い合わせ Tel 0742-22-7788
<b>今宮戎神社奉納舞楽</b>	(大阪)
1月8日(月) 午後2時	管絃 平調音取 伊勢の海
舞楽 振鉢三節 長保樂 蘭陵王 長慶子	舞楽 振鉢三節 延喜樂 抜頭 長慶子
問い合わせ Tel 0742-22-7788	問い合わせ Tel 0742-22-7788
<b>高岡市御旅屋通り商店街初売舞楽</b> (富山)	舞楽 迦陵頻 右方 抜頭 演奏 松風会
1月14日(日) 午前10時～ 午後2時～	管絃 越天樂 (平調) 朗詠嘉辰 隅臚
無料 大和百貨店高岡店 高岡市御旅屋町	舞楽 納曾利 (2回とも同じ)
問い合わせ Tel 058-323-5373	問い合わせ Tel 058-323-5373
<b>第11回雅楽定期公演東京樂所</b> 「新春の雅楽 舞楽法会」 (東京)	舞楽 振鉢三節 迦陵頻 胡蝶 萬壽樂
1月20日(土) 午後2時 S席6000円 A席5000円	管絃 平調音取 納曾利 主催・演奏 多度雅樂会
P席3000円	問い合わせ Tel 03-3630-0038
<b>博雅会第33回雅楽東京公演「武舞」</b> (東京)	舞楽 振鉢三節 迦陵頻 胡蝶 萬壽樂
1月30日(火) 午後6時半	管絃 平調音取 越天樂 隅臚
4000円 当日4500円	問い合わせ Tel 03-3579-5666
渋谷区文化総合センターハ和田伝承ホール	演奏 伶樂舍
舞楽 太平樂壺 隅臚破陣樂	演奏 伶樂舍
ゲスト 豊英秋師・池邊五郎師・安齋省吾師	問い合わせ Tel 03-3579-5666
問い合わせ Tel 080-2415-2347	問い合わせ Tel 03-3579-5666
<b>古の響き 雅楽 伶樂舍</b> (福島)	笙シリーズ IV-1 (東京)
2月3日(土) 福島市音楽堂大ホール	管絃 平調音取 越天樂 隅臚
4000円 ふれあい交流会費込5000円	問い合わせ Tel 03-3579-5666
午後2時 基調講演 午後3時 コンサート	2月24日(土) 午後2時
前売一般3000円 高校生以下2000円	一般5000円 学生2500円
当日一般3500円 高校生以下2500円	サントリーホール ブルーノード
蕨市民会館コンクレーベル	雅楽古典 青海波音取 青海波 平調調子
演出 木戸文右衛門	宮田まゆみ復曲 平調 青海波 ほか
問い合わせ Tel 03-3560-3010(AMATI)	川上理作曲 合歓の木
<b>求子歌 大比礼歌</b>	芝祐靖作曲 菩竹のたわむれ初演 (笙独奏)
東遊一具	細川俊夫作曲 光に満ちた息のように
内宮神樂殿東隣 演目 東遊	遠藤徹復曲 雙調入調
問合せ Tel 0596-24-1111	共演 八百谷啓 (簾築) 八木千曉 (龍笛)
<b>伊勢神宮 一月十一日 御饌 東遊 (三重)</b>	問合せ Tel 03-3560-3010
1月11日(木) 午後1時ごろ	国立劇場 雅楽 国風歌舞 (東京)
卯杖舞 扇舞 竹川半首 萬春樂 何そもそも	問い合わせ Tel 03-3560-3010
問い合わせ Tel 052-971-4151	3月3日(土) 午後1時と午後4時2回公演
<b>熱田神宮 踏歌神事</b> (愛知)	全席指定4800円 (学生3400円)
1月11日 午前10時～ 午後1時	国立劇場小劇場
演奏 天王寺樂所雅亮会 (以和貴会)	主催 AMATI
<b>伊勢神宮 一月十一日 御饌 東遊 (三重)</b>	予約開始 1月11日(木) 午前10時～
1月11日(木) 午後1時ごろ	東遊一具
内宮神樂殿東隣 演目 東遊	1月11日(木) 午後1時ごろ
問合せ Tel 0596-24-1111	1月11日(木) 午後1時ごろ
<b>永久の調べ 伶樂舍雅樂演奏会</b> (埼玉)	1月11日(木) 午後1時ごろ
1月13日(土) 午後2時	1月11日(木) 午後1時ごろ
前売一般3000円 高校生以下2000円	1月11日(木) 午後1時ごろ
蕨市民会館コンクレーベル	1月11日(木) 午後1時ごろ
演出 木戸文右衛門	1月11日(木) 午後1時ごろ
問い合わせ Tel 03-3560-3010(AMATI)	1月11日(木) 午後1時ごろ
<b>古の響き 雅楽 伶樂舍</b> (福島)	1月11日(木) 午後1時ごろ
2月3日(土) 福島市音楽堂大ホール	1月11日(木) 午後1時ごろ
4000円 ふれあい交流会費込5000円	1月11日(木) 午後1時ごろ
午後2時 基調講演 午後3時 コンサート	1月11日(木) 午後1時ごろ
前売一般3000円 高校生以下2000円	1月11日(木) 午後1時ごろ
蕨市民会館コンクレーベル	1月11日(木) 午後1時ごろ
演出 木戸文右衛門	1月11日(木) 午後1時ごろ
問い合わせ Tel 03-3560-3010(AMATI)	1月11日(木) 午後1時ごろ
<b>伶樂舍雅樂コンサート no.33</b>	伶樂舍
1月6日(土) 午後2時	伶樂舍
前売3000円	伶樂舍
問い合わせ Tel 03-5269-2011	伶樂舍
<b>故郷の謡 雅樂 席田</b> (岐阜)	伶樂舍
1月13日(土) 午後2時	伶樂舍
前売1000円	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>故郷の謡 雅樂 席田</b> (岐阜)	伶樂舍
1月13日(土) 午後2時	伶樂舍
前売1000円	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖作曲 招杜羅紫苑より)	伶樂舍
舞楽 賀殿破・急 太食調音取 長慶子	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿破・急 太食調音取 長慶子	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶樂舍
演奏 伶樂舍	伶樂舍
問い合わせ Tel 048-445-7660	伶樂舍
<b>管絃 双調調子 烏急 酒胡子 催馬樂</b>	伶樂舍
新しき年 (芝祐靖復曲・構成 露台乱舞)	伶樂舍
舞楽 賀殿急・芝祐靖復曲・構成 露台乱舞	伶

五節舞 久米舞 参音声 大歌 大歌 演出 宮内庁式部職業部 雛の会（五節舞舞姫）	問合せ Tel 03-3265-7411 3月3日（土）午後1時半 無料 高岡市雅楽の館 管絃 越天樂（平調）酒胡子 陵王（双調） 舞楽 迦陵频 演奏 洋遊会 問合せ Tel 0766-64-0390
雅楽の館 ひなまつりの雅楽 （富山）	
和貴会演奏会 海神への供物 ～住吉大社と天王寺樂所（大阪）	3月6日（火）午後6時半 4000円 フェスティバルホール 第1部 卯之葉神事 振鉾 春庭花 胡蝶 第2部 観月祭 舞楽 採桑老 甘州 演奏 天王寺樂所雅亮会（以和貴会） 主催 以和貴会 共催 天王寺舞樂協会 問合せ Tel 06-6641-0084
梅宮大社 櫻祭（雅樂祭） （京都）	3月11日（日）午後5時 3000円 熱田文化小劇場 客演 安齋省吾師 管絃 壱越調音取 朗詠 春過 胡飲酒序 特別演奏 其のまく（神樂・盆笛・独奏） 舞楽 胡蝶 安摩 二ノ舞 長慶子 問合せ Tel 090-9194-5600（柴垣）
石清水八幡宮 男山桜祭 （京都）	4月3日（火）午後2時 3000円 舞楽 平安雅樂会 賀茂曲水宴 上賀茂神社 （京都）
3月29日（木） 薬師寺 花会式 （奈良）	4月8日（日）午後1時 3000円 舞楽 青海波 拔頭 蘭陵王 （京都）
4月29日（火）未定 演奏 南都樂所	曲目未定 演奏 平安雅樂会 問合せ Tel 075-781-0011
梅宮大社 櫻祭（雅樂祭） （京都）	4月15日（日）午前11時 3000円 舞楽 還城樂（予定） 演奏 平安雅樂会 聖靈会舞樂大法要 四天王寺石舞台（大阪）
4月22日（日） 総本山知恩院「御忌大会」声明付樂 （京都）	4月22日（日）午後1時より 3000円 振鉾 蘇利古 打毬樂 獅子 菩薩 般若 胡蝶 延喜樂 蘭陵王 演奏 天王寺樂所雅亮会（以和貴会） 問合せ Tel 075-531-2111
新刊・カレンダーなど	○雅樂切り絵暦 ※定価2000円 問合せ注文は Tel 022-275-17317 Fax 022-275-6449 ○「宮中雅樂カレンダー」 発行（有）麻布企画 1000円 取扱い 菊葉文化協会ほか 問合せ Tel 03-5222-3531 ○新刊『伶倫樂遊 芝祐靖と雅樂の現代』 ジャンルの垣根を越え「雅樂」を儀式音楽 から解き放った不世出の雅樂師・芝祐靖の知 られざる生涯を描いた初の評伝。国立劇場雅 樂・伶樂公演、古譜・古樂器の復元、宮内庁 樂部からの独立と伶樂舎の結成、武満徹（秋 庭歌）ほか現代音樂作曲家との協働、東京藝 大での雅樂指導と子どもたちへの雅樂の普及 …これまで知られることのなかつたその半 生と、現代における「雅樂」の復活と創造の 軌跡、芝祐靖がそこに果たした役割を跡づけ る。貴重な写真のほか、芝祐靖自身が執筆し たエッセイも多数掲載。

★★読者チケットプレゼント★★	☆多度雅樂会 1月27日 深川江戸資料館 3名様ご招待 1月13日必着 招待券を送付 ☆笙シリーズIV-1 2月24日 サントリーホール 1名様ご招待 2月10日必着 招待券を送付 ★国立劇場 国風歌舞 3月3日 国立劇場小劇場 1時 2名様ご招待 2月17日必着 招待券を送付
応募資格・「雅樂だより」定期購読者 応募方法・はがきに希望の演奏会・住所・氏名、 電話番号などを必要事項を記入。 応募先・〒188-0013 東京都西東京市向台町6-12 東京都西東京市向台町6-12 6鈴木方 「雅樂だより」編集部	2018年（平成30年）1月1日 発行 雅樂協議会 編集 雅樂協議会「雅樂だより」編集担当 連絡先 〒188-0013 東京都西東京市向台町6-12-6（鈴木治夫） TEL 042-451-8897 FAX 042-451-8897 メール gakakudayori@yahoo.co.jp 印刷 秀英堂紙工印刷株式会社



伶倫樂遊  
芝祐靖と雅樂の現代

雅樂×クラシック、伝統×前衛——  
芝祐靖、終わらない挑戦の軌跡!  
2017年度 文化勲章受章  
IC ories

…これまで知られることのなかつたその半  
生と、現代における「雅樂」の復活と創造の  
軌跡、芝祐靖がそこに果たした役割を跡づけ  
る。貴重な写真のほか、芝祐靖自身が執筆し  
たエッセイも多数掲載。

【雅樂だより】  
購読料一年（4回発行）二千円。（送料込）  
郵便振込用紙に住所、氏名をご記入のうえ、  
【口座番号】00140-5-614032  
【加入者名】雅樂協議会  
までお振込みください。ご記入頂いた住所に  
「雅樂だより」を送らせて頂きます。  
あとがき 「雅樂だより」も14年目となりま  
す。上牧・鶴殿ヨシ原の簞篋用のヨシの今後  
がとても心配です。

【雅樂だより】  
購読・継続 申し込み方法  
購読料一年（4回発行）二千円。（送料込）  
郵便振込用紙に住所、氏名をご記入のうえ、  
【口座番号】00140-5-614032  
【加入者名】雅樂協議会  
までお振込みください。ご記入頂いた住所に  
「雅樂だより」を送らせて頂きます。

【雅樂だより】  
購読料一年（4回発行）二千円。（送料込）  
郵便振込用紙に住所、氏名をご記入のうえ、  
【口座番号】00140-5-614032  
【加入者名】雅樂協議会  
までお振込みください。ご記入頂いた住所に  
「雅樂だより」を送らせて頂きます。  
正 51号 4P段 筆者は羽井徹氏です。  
お詫びして訂正します。

新刊・カレンダーなど



雅樂切り絵暦

寺内直子 編著 2200円「税別」四六版  
272頁（株）アルテスパブリッシング  
問合せ Tel 03-6805-2886

○刀の柄に付ける笙のデザインの目貫  
一つが長さ約35mm、幅約10mm。  
二つで組になつている。



写真・坂田安弘

雅樂の樂器・譜面 ほか  
（株）武蔵野樂器  
〒114-0003 東京都北区豊島1-5-6  
電話 03-5902-7281  
Fax 03-5902-7282  
問合せ Tel 092-596-8585